

めあて 「歌のにじ」の音楽に合わせて、せんりつをつくってみよう。

歌のにじ

※ 前回の楽譜に誤りがあり申し訳ありません。お詫びと訂正致します。

佐田和夫 作詞 / 岡部崇彦 作曲

♩=100~108

1-2うたごえたかくひびけ そらまでとどけ

ソ ソ ミ ファ ラ ド シラソ

まぶしいはるのひかり うけてひろがれ
ながれるくももうたう こえをあわせて

ソ ソ ミ ファラソファミ

ぼくたちのうたごえてそらににじをかけよう

ドシラ ミファソ ドシララ シラソ

きぼうのいろにそめて どこまで—も
あしたのいろにそめて いっまで—も

☆ みなさん、「歌のにじ」のリコーダーはふけるようになってきましたか？ できるようになってきた人は、④の所の音楽づくりにちがせんでみましょう。

😊 新しくおぼえること!!
「せんりつ」
いろいろな高さや長さの音をつなげてメロディーにしたものを「せんりつ」といいます。

♪ 音楽づくり
下のききゅうから音をひとつずつえらんで、○に当てはめてえんそうしてみましょう。
リコーダーで音をたしかめながら、どんな「せんりつ」がよきれいか、ためしてみましよう。
空ににじがかかったような、すてきなせんりつができるよいですね。

えらんだ音 (階名で)

○	○	○	○	○	○
↑	↑	↑	↑	↑	↑
ド		ド	レ	レ	ド
	シ		シ		
ソ	ソ	ソ	ラ	ソ	ソ
	ファ		ファ	ファ	
ミ		ミ			ミ

おうちの方へ
「歌のにじ」のリコーダーパートが演奏できるようになってきたら、この旋律づくりにチャレンジさせてみて下さい。はじめはいろいろな音の組み合わせを試すことを楽しみましよう。くり返す中で、例は低い音から高い音へ急に跳躍するような進行が続くより、徐々に音程が上がるたり下がったりしたほうがまとまりのある旋律になって、リコーダーの運指にも無理がないこと気づけるとよいですね。